

第93回スポーツサイエンス研究会

グローバルCOEプログラム「アクティブ・ライフを創出するスポーツ科学」

日時 2011年10月28日(金) 16:30より

場所 早稲田大学 所沢キャンパス 100号館210室

演題 効果的な脂肪燃焼の亢進を目指した基礎研究

橋本 健志

(立命館大学スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学研究科・准教授)

メタボリックシンドロームに代表される代謝疾患が深刻化している現代において、脂肪燃焼を効果的に実行できる方法の確立は重要な課題である。脂肪燃焼を効率よくするためには、脂肪分解刺激(e.g. 運動によるアドレナリン)に対する脂肪細胞の反応性を高めること、そして骨格筋・心筋が脂肪細胞由来の脂肪酸を活発に燃焼することが肝要であると考えられる。これまで、脂肪燃焼の場である筋細胞のミトコンドリアの機能については、その亢進に対する分子機序が運動生化学分野において精力的に研究されてきている。一方、脂肪動員の初発段階であるにもかかわらず、脂肪細胞での脂肪分解制御機構については未解明な部分が多い。本セミナーでは、ここ数年演者が取り組んできた「脂肪細胞での脂肪分解制御機構」と「脂肪分解の亢進が期待できる生理的ストレス」について紹介したい。



早稲田大学 スポーツ科学部
School of Sport Sciences, Waseda University

世話人：正木 宏明・沼尾 成晴
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: masaki@waseda.jp